

平成28年11月4日発行

宮城復興局気仙沼支所

気仙沼市笹が陣3-5

気仙沼市シルバー人材センター内

つちおと

10/30(日)

～ 安倍総理大臣が南三陸町・気仙沼市を視察 ～

去る10月30日(日)、安倍総理が被災地の復興の進捗を確認されるため、就任後30回目となる被災地訪問として、気仙沼支所管内の気仙沼市と南三陸町を訪問されました。



総理の餅まきによって産業フェアの盛り上がりはピークに！



周辺住民に待ち望まれた、三陸沿岸道路登米志津川道路が開通



気仙沼の水産×観光を融合した取組としてちよいのぞきツアーでサメと対面



母子と一緒に出勤できるNPO法人ピースジャムにて母子と記念撮影をする総理

南三陸町では、同日開催の南三陸産業フェアに参加され、もちまきで会場を盛り上げたほか、特産の鮭汁、地元高校生の焼いたたこ焼きを召し上がりました。

また、同日開通する復興道路として位置づけられている三陸沿岸道路登米志津川道路開通式典に御出席され、総理自ら祝辞とテープカットを行い、開通を盛り上げました。

気仙沼市では、観光復興に取り組む株式会社足利本店を視察され、直接サメの肌に触れて感触を確かめたり、カツオの箱詰めラインをご覧になったりと、ちよいのぞきツアーを体験されました。

また、母親が子供を連れて働ける場所を提供するNPO法人ピースジャムを視察、製造したジャムをご試食され、遊具で遊ぶ子供達とふれあいました。

～ 赤岩港水産加工団地 造成工事終了！ ～

赤岩港水産加工団地



気仙沼市が大川河口南側に隣接する丘陵地に整備を進めてきた赤岩港水産加工団地は、すでに5社が工場の建設に着手しており、11月から順次稼働する予定となっています。

同地は、東日本大震災と同等の津波(L2)に対しても安全な水産加工団地を整備し、基幹産業である水産関連産業の拠点形成及び雇用の回復・拡大を図るため、復興交付金を活用してきました。平成25年1月から工場建設着手を行ってききましたが、このたび造成工事が終了したことにより、さらに加速する見込みです。

今後は、残っている一部の下水道施設や街路灯の整備、緑地の植栽などが行われる予定です。

※写真右：建設中の加工場



総事業費：約107億円
総事業面積：約20ha
進出予定企業：14社

～ 10月に完成・入居開始の災害公営住宅 ～

気仙沼駅前と南町一丁目に建設された、災害公営住宅の入居が10月末から始まっています。

市営気仙沼駅前住宅は集合型の住宅で、2つの工区に分け整備が進められています。このうち、先工区の2号棟64戸の入居予定者を対象にした内覧会が10月16日に行われ、10月28日から入居が始まっています。

後工区の1号棟130戸は、来年5月の完成に向けて躯体工事が進められています。



気仙沼駅前住宅

<2号棟の概要>

鉄筋コンクリート12階建

- ・55㎡タイプ 1LDK 10戸 2DK 21戸 2DK 11戸 (高齢者見守り型)
- ・65㎡タイプ 2LDK 11戸 ・80㎡タイプ 3LDK 11戸



南町一丁目住宅

市営南町一丁目住宅は、共同化型の建物で、1階が店舗、2階以上が住宅となっており、6階建の南棟に27戸、4階建の北棟に9戸、計36戸が整備されました。10月8日に内覧会が行われ、10月28日から入居が始まっています。



南町一丁目住宅 北棟

<住宅の概要>

南棟 鉄筋コンクリート6階建

北棟 鉄筋コンクリート4階建

- ・55㎡タイプ 1LDK 7戸 2DK 9戸
- ・65㎡タイプ 2LDK 4戸 3DK 10戸
- ・80㎡タイプ 3LDK 2戸 4DK 4戸

1階には、飲食店事務所や食品製造工場、店舗、高齢者福祉施設が入ります。

10/13[㊞]

～ 気仙沼市地域おこし協力隊に辞令交付 ～

10月13日、市役所で気仙沼市地域おこし協力隊の第一号となる隊員への辞令交付式が行われました。今後、気仙沼地域エネルギー開発で自伐林業家の養成などにあたることになります。

市は今年10名の地域おこし協力隊を募集中で、その役割は、「水産資源の多角的利用による新産業創出」、「気仙沼を中心とした日本型DMO構築」、「人材育成プラットフォーム推進」、「U・Iターン等受け入れ体制整備」、「環境負荷の少ない社会の構築」となっています。

今後の活躍が期待されます。



10/19^(水)

～ 伊里前復興商店街本設起工！ ～

10月19日、伊里前復興商店街の本設工事が着工しました。起工式には町長のほか設計を担当した隈研吾氏が出席し、南三陸杉の利用をアピールしました。

伊里前復興商店街は、かさ上げ工事の都合で今年2月に当初の仮設から現在の仮設に移転したところですが、現在の8店舗のうち、6店舗が本設に移転、2店舗は別の店舗が新規開業する予定です。

本設の完成は来年4月中旬の予定で、地元住民の皆さんが買い物をするだけでなく、地域交流の拠点となることが期待されます。

10/12^(水)

～ ガレキ置き場だった農地で震災後初の稲刈り ～

気仙沼市 階上野田地区の農地は地域の皆さんの協力により、東日本大震災で発生した震災廃棄物一次仮置き場として使用されました。震災廃棄物の処理の終了後、原型復旧工事が行われてきましたが、今年3月に残っていた17.68haの工事が完了し、全ての土地が地権者に引き渡しされました。5月には、震災後初めての田植えが行われ、順調に育った稲の借り入れ作業が10月初旬から行われています。

野田地区の23.3haの農地で大豆、水稻、茶豆の作付けを行っている階上生産組合長の佐藤美千夫さんは、「震災後はガレキ置き場だった農地が元どおりになり、震災から6年目で初めての稲刈りができた。米も良い出来なので元気が出てくる。」と話しています。

お伊勢浜海岸側から野田地区を望む



手前は、黄金色の稲が収穫を待つ水田。奥の緑色農地は、収穫を待つ大豆畑。(茶豆は収穫済み)

〈平成28年の作付面積〉

・稲作 8.6ha ・茶豆 3.6ha ・大豆 11.1ha

※ 奥のビニールハウス付近まで一次仮置き場として使用。

10月12日、この日は組合員3人が、稲刈作業にあたっていました。

稲刈りは、10月中旬まで続けられます。その後、来年1月には大豆の収穫が行われます。



野田地区の一次仮置き場の様子



震災後、野田地区には気仙沼市最大の震災廃棄物一次仮置き場が設けられました。

震災廃棄物の処理終了後、農地への原型復旧が行われ、平成25年度末に2.78haが返地され、平成27年度末には17.68haが返地され、20.46haすべての土地引き渡しが完了しました。

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【11月27日（日）】志津川湾鮭・いくらまつり復興市【南三陸町】

待ちに待ったこの季節がやってきました！ 11月の復興市テーマは鮭といくらの共演です！『きらきら丼』でもおなじみの志津川名産秋の味覚をオリジナルメニューでお楽しみください。

【12月4日（日）】唐桑ごっつおーフェア【気仙沼市】

唐桑の冬の味覚 牡蠣のほか、ホタテやホヤなどの海の幸がいっぱいです！太鼓や大漁唄いこみなどの郷土芸能のステージもあります。

け
せ
ん
ぬ
ま



◆ 問①～⑤を意味する気仙沼地方の方言は何でしょうか。
◆ 最後は色付きの枠に入る文字を並べて、言葉を作りましょう。

問① しっくりこない

い		
---	--	--

問② 申し訳ない

	っ	け
--	---	---

問③ いつのまにか

い		の		ま		が
---	--	---	--	---	--	---

問④ ちょっかいを出す

	っ		げ	る
--	---	--	---	---

問⑤ 食いしん坊

	や		こ
--	---	--	---

問①	問②	問③	問④	問⑤
----	----	----	----	----

みんなは豚肉派かな？
牛肉派かな？



【編集後記】

◆寒い日も続き、暖かいものが美味しくなってきました。小さな土鍋を買って、一人鍋をしています。

(前号のパズルの回答)

問① バカ者

ほ	で	な	す
---	---	---	---

問② 疲れる

が	お	る
---	---	---

問③ すねる

む	っ	け	る
---	---	---	---

問④ いねむり

ね	ぶ	か	き
---	---	---	---

問① 問② 問③ 問④

な	が	っ	き
---	---	---	---

里山の紅葉



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ
<http://www.reconstruction.go.jp/>